

## CSR(企業の社会的責任)への取り組み

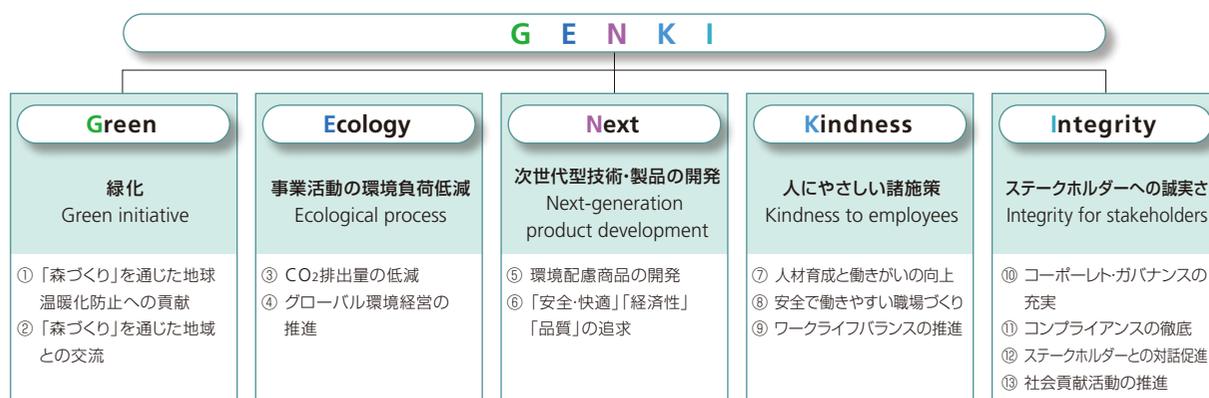
住友ゴムグループは、「長期ビジョン」で掲げる長期持続的な成長と価値創造を実現していくためには、経済的価値のみならず社会的価値向上への取り組みが不可欠だと考え、CSRの推進に取り組んでいます。

### 住友ゴムグループ CSR活動基本理念

#### CSR理念

住友ゴムグループは、地球環境や社会をGENKIにする活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、社会から信用される企業グループを目指します。

#### CSRガイドライン



### CSRの推進・活性化に向けて

住友ゴムグループは、2008年2月、CSR経営のさらなる強化を図るため、「CSR活動基本理念」を策定しました。この基本理念では、「地球環境や社会をGENKIにする活動」を通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、社会から信用される企業グループを目指します」という理念のもと、「Green：緑化」「Ecology：事業活動の環境負荷低減」「Next：次世代型技術・製品の開発」「Kindness：人にやさしい諸施策」「Integrity：ステークホルダーへの誠実さ」から成るCSR活動の五つの行動指針を明確にしています。

また、2008年7月には専任組織としてCSR推進室を設置し、CSRマネジメント体制の整備、従業員に対する啓蒙活動、社外

への情報発信等、グループのCSR活動の活性化に取り組んでいます。

CSR活動を推進するにあたっては社内外のステークホルダーの方々とのコミュニケーションを豊かにしていくことが重要と認識し、地域のさまざまな団体や自治体等との連携を深めるとともに、CSR活動の内容と進め方について社外有識者の方に専門的な見地からご意見を頂いています。

これからもさまざまなステークホルダーとの対話を通じて当社グループに対して社会が期待する役割を認識し、住友ゴムグループらしいCSR活動を推進していきます。

## CSRトピックス

### 「平成22年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」において「経済産業大臣賞」を受賞

住友ゴム工業(株)は、住友ゴムグループがリデュース・リユース・リサイクルに率先して取り組み、顕著な実績を上げたとして、2010年10月、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会から経済産業大臣賞を受賞しました。当社グループは2010年3月に、国内外の住友ゴムグループ主要製造拠点(国内全6工場、関係会社5社、海外6工場)のすべてで完全ゼロエミッション\*を達成し、スタートから10年8カ月間で当初目指した目標を達成しています。

また、環境省から「エコ・ファースト企業」として認定されている当社グループは、その約束の一つである完全ゼロエミッションによる「埋立ゼロ」も達成したことになります。

\*直接埋立廃棄物の量がゼロ、再資源化率100%とすること



表彰式の模様

### 業界初 環境マネジメントシステム(ISO14001)のグローバル統合認証を取得

住友ゴム工業(株)は、このたび、本社およびグループの国内・海外工場、関係会社など30拠点を対象として、環境マネジメントシステムISO14001のグローバル統合認証を取得しました。海外工場を含めたグローバル統合認証の取得は業界初です。

住友ゴム工業(株)は、グループの環境管理体制を一元化し、かつグループ全体でPDCAサイクルを回すことにより持続可能な社会の発展に貢献していくことを目的として、海外の事業所も含めたグループのグローバル統合認証を取得する活動を推進してきました。2007年12月に本社・技術研究センターでISO14001の認証を取得し、それまで個別で認証を取得していた工場、関係会社などを統合認証に加えるとともに、認証を取得していなかった工場、関係会社を新たに拡大認証し、グローバル30拠点の統合認証を完成させました。



ISO14001グローバル統合認証

### 環境分野に関するステークホルダーダイアログ実施

住友ゴムグループのCSR活動について専門的見地からご意見を頂くため、2009年から継続してステークホルダーダイアログを実施しています。2010年2月に第4回目として主に当社グループの「エコ・ファーストの約束」や、「CSRガイドライン」のうち主にGreen・Ecology・Nextに該当する環境保全活動について、大阪市立大学大学院経営学研究科教授の向山敦夫氏にご意見・ご評価を頂戴しました。そのなかで環境活動の具体的な目標設定に関する改善点など多くのご指摘を頂きました。頂戴した内容を参考とさせていただきます、今後の当社グループの環境保全活動へ活かしてまいります。



向山氏(写真右)より貴重なご意見を頂きました。

当社グループのCSR活動の詳細につきましては、「CSR報告書」をご覧ください。  
当社グループのホームページ「CSRの取り組み」のページにも掲載しています。

<http://www.srigroup.co.jp/csr/index.html>

## 第1回 CSR 基金助成を実施

住友ゴム工業(株)は、地球環境問題をはじめとする社会問題の解決に向けた多様な活動を支援するため、2009年7月に住友ゴム CSR 基金を設立し、趣旨に賛同した従業員の給与から毎月200円の募金とその同額を会社が上乗せして拠出するマッチングギフト方式で運営しています。

助成の対象は、生物多様性を含む環境保全、災害支援、交通安全、その他当社グループ事業所所在地域における固有の社会問題の解決、のいずれかに取り組む団体の活動としており、2010年6月に実施した第1回助成では、神戸市・大阪府・福島県白河市所在の各中間支援NPOと協働し、計8団体、合計2,327,000円の助成金を拠出しました。2011年度は対象地域を拡大し、新たに愛知県・東京都・宮崎県の中間支援NPOと助成先選定について協働を開始するとともに、東日本大震災の復興支援に取り組む団体への助成を実施する予定です。



2010年度助成先団体の活動

## 白河工場と宮崎工場が「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に認定

財団法人都市緑化基金の「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に、当社白河工場が2010年5月、宮崎工場が10月に認定されました。

白河工場では、「森に抱かれた工場」をコンセプトにビオトープの整備や地域生態系に対応したエコロジカル・ネットワークを意識した緑地形成などに取り組んでおり、工場敷地内に里山「GENKIの森」の整備を行い、地域の皆様へ開放するなどしています。宮崎工場では、特に2005年からキク科植物のヒゴタイ(絶滅危惧種1-B類)の工場内での育成・保護に取り組み、今では育成に成功した苗木をもともと自生していた地域へ植栽・還元することを進めています。



白河工場のビオトープ

宮崎工場のヒゴタイ

## 「企業と生活者懇談会」を開催

2010年11月15日、財団法人経済広報センターの社会公聴会員の皆さま5人を白河工場にお迎えして「企業と生活者懇談会」を開催しました。タイヤ工場、安全体感道場および製造研修センターを見学していただいた後、質疑応答と意見交換を行いました。当社グループの環境への取り組みや地域社会との交流・融和の活動などについて高い評価を頂いた一方、工場での女性従業員採用の拡大、施設のバリアフリー化などについてご意見を頂きました。今回頂いたご意見につきましては、今後の活動の参考とさせていただきます。生活者の皆さまに当社の活動を知っていただくとともに、ご意見を頂戴する大変貴重な機会となりました。



懇談会の様子

